石川県の国内観光市場【2025年版】

～データで読み解く、次の一手～



作成日：2026-01-10

対象読者：石川県の観光事業者、自治体・DMO、広告・メディアの意思決定者の皆様

NotebookLM

巷で聞こえる「明るい話」

「よしよし、観光は順調に回復しているみたいだ！」



県の公式発表でも、観光消費額は**3,195億円**(前年比+6.9%)、単価も**21,754円**(前年比+3.7%)と堅調な数字が並ぶ。

NotebookLM

…しかし、足元の「国内客」に異変が。

-14.9%

最新の観光庁データ（2025年10月）では、
石川県の「日本人延べ宿泊者数」は前年同月比で-14.9%。
これは見過ごせない“警告”です。



出典：観光庁 宿泊旅行統計調査（2025年10月）

NotebookLM

真相①：回復は「まだら模様」。都市と地方で景色が全く違う。

都市部





地方・温泉地



同じ石川県内でも、ビジネス・シティホテルは80%超の高稼働。一方で旅館・リゾートホテルは深刻な低迷が続いています。需要が「金沢中心のビジネス・都市観光」に極端に偏っている証拠です。

出典：観光庁 宿泊旅行統計調査（2025年10月）

NotebookLM

真相②：「単価アップ」の影で、国内客を“追い出し”ていないか？



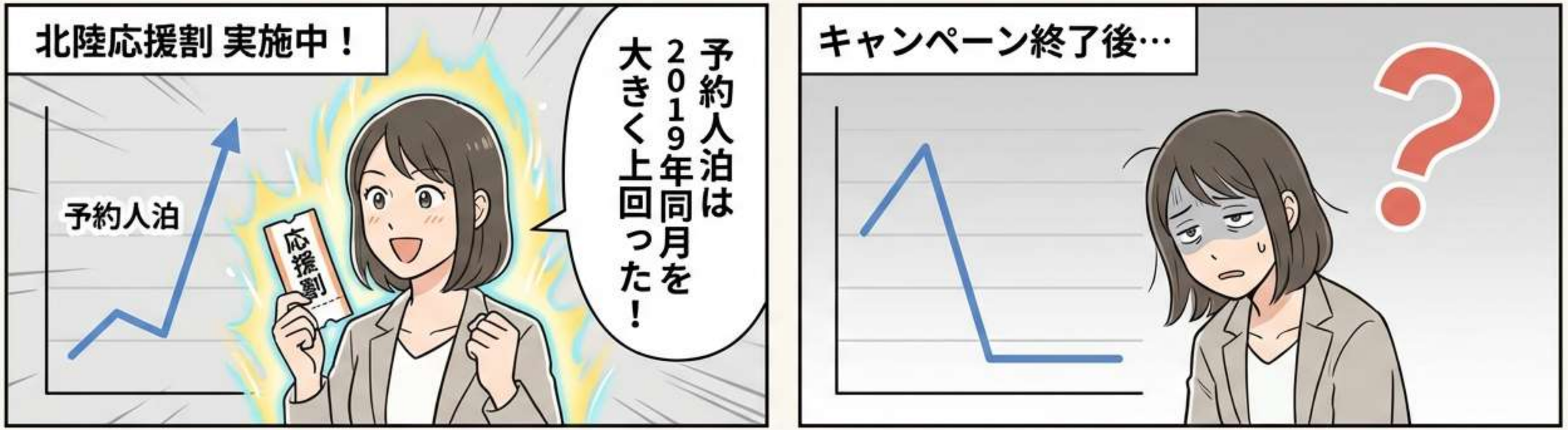




県の戦略も「物価上昇＋高単価な訪日客増」を単価上昇の要因として挙げています。
しかし、この戦略は国内のファミリー層や若者層を、知らず知らずのうちに県外へ逃がしている危険性をはらんでいます。

NotebookLM

真相③：「割引」は特効薬か、それとも“麻薬”か。



割引が終わった後、石川を“選んでもらう本当の理由”は、
果たして残っているだろうか？

「いしかわ応援旅行割」では約44億円の補助金に対し、約93億円の旅行代金が動いた。
効果は絶大だが、持続性には疑問符がつく。

NotebookLM

これが国内市場の“不都合な真実”。



見かけより弱い「国内需要」

数字上は回復して見えても、実態は全国平均より落ち込みが深く、予断を許さない。

深刻な「回復の偏り」

需要が金沢・ビジネス利用に集中。旅館やリゾートなど、地域の観光経済を支える業態が苦戦している。

危うい「戦略の依存」

目先の単価上昇や割引効果に頼りすぎ、国内客が長期的に離れていくリスクを軽視している。

NotebookLM

では、どうすれば勝てるのか？
まず、「“平均”で見る」のを、やめよう。

「誰に、何を、どこで」を切り分け、顧客セグメントごとに
最適な戦略を設計することが、次の一手の大前提となる。



稼働率83%のホテルと45%の旅館では、打つべき手は全く異なる。
全員を同じ「観光客」として扱う戦略は、もはや通用しない。

NotebookLM

アクション①：エリア別「勝利の方程式」を再定義する

金沢 (Kanazawa)



現状: 日帰り客が多い

ミッション:「宿泊転換」で客単価を最大化せよ！

- 具体策: 夜の食・体験コンテンツ強化、夜景ツアー





現状: 宿泊滞在が中心

ミッション:「連泊・滞在価値」で満足度を高めよ！

- 具体策: ウェルネスプログラム、季節限定の食体験、連泊割引



能登 (Noto)



現状: 復興途上、アクセスに制約

ミッション:「復興×体験」で新たな旅の目的を創造せよ！

- 具体策: 復興ツーリズム、限定されたエリアでの食・自然体験

NotebookLM

アクション②：「価格」で戦うな、「目的」で選ばれろ



目的創造の例



この宿でしか味わえない
「発酵食ディナー」



九谷焼の作家に直接教わる
「絵付け体験」



静寂の中で自分と向き合う
「禅リトリート」



地酒を巡る
「マイクロ酒蔵ツアー」

NotebookLM

アクション③：3つの「論争」を賢く乗りこなす



推進論
短期の需要喚起・風評払拭に即効性あり



懸念
依存体質を生み、通常期の収益性を損なう麻薬

容認論
稼働率が高く、投資効率が良いのは事実



分散論
地域経済の偏りを生み、周辺が疲弊する

推進論
持続可能な観光地経営のための貴重な財源



懸念
還元が見えないと国内の価格感度層を逃がす障壁

これらの論点に「唯一の正解」はない。自社の立ち位置と顧客層に合わせて、
最適なバランスを見つけることが経営者の仕事です。

NotebookLM

【最重要】統計のワナを見抜け！2025年の正しいKPI設定

⚠ 意思決定を誤らせる「見かけの数字」 ⚠

2024年との単純な「延べ宿泊者数」前年比

ワナ（The Trap）

2024年の数字には「二次避難者等」が含まれうるため、2025年が実態以上に“悪く”見えてしまう。

☑ 実態を映す「本当の数字」

- 自社予約データ（予約件数、ADR、RevPAR）
- 国内客／訪日客を分解した延べ宿泊者数
- 稼働率（施設タイプ別）



前年比の数字に一喜一憂せず、構造を捉えるKPIで自社の現在地を正しく把握しましょう。

NotebookLM

石川県・国内観光市場データサマリー

指標		数字	期間・出典
市場規模	観光消費額	3,195億円	R6（2024）, 石川県
	観光入込客数	1,886万人泊	R6（2024）, 石川県
国内宿泊の“体温”	日本人延べ宿泊者数	-14.9%↘（前年同月比）	2025年10月, 観光庁
	客室稼働率	68.1%（全体）	2025年10月, 観光庁
	└ビジネスホテル	83.1%	2025年10月, 観光庁
	└旅館	45.1%	2025年10月, 観光庁



※日本人延べ宿泊者数の前年比は、2024年統計の特殊要因（二次避難者等）を考慮し、あくまでトレンドとして参照すること。

NotebookLM